

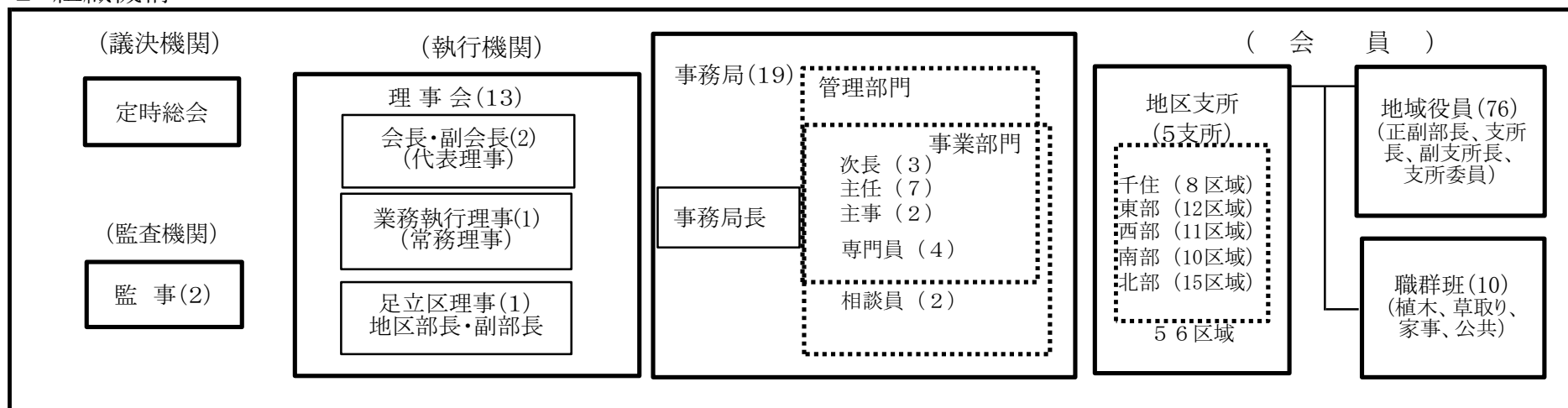
# 令和3年度足立区シルバー人材センター事業報告・収支決算説明書

令和4年3月31日現在

## 1 概要説明

名 称	公益社団法人足立区シルバー人材センター	所 在 地	足立区西保木間1丁目8番2号
設立年月日 公益認定	昭和53年4月20日(平成2年7月2日名称変更) 平成23年4月1日公益社団法人	代 表 者	会 長 國井 幹雄
職 員 数	常勤13人、専門員4人、相談員2人 合計19人	基本財産	-----

## 2 組織機構



## 3 基本目標・基本理念及び主な公益目的事業

【基本目標】 高齢者の希望に応じて就業の機会を確保し、高齢者の生きがいの充実、社会参加の推進を図り、活力ある地域社会に貢献する

【基本理念】 1 自主的・自立的な組織理念 2 共働・共助の事業理念

【主な公益目的事業】(定款第4条)

- 1 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のための、就業の機会確保及び提供
- 2 高齢者に対し、就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習の実施
- 3 社会奉仕活動等を通じて、高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図るために必要な事業
- 4 高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与する目的を達成するための調査研究、相談及び事業の企画運営

【新型コロナウイルス感染症対策を踏まえて留意した事項】

- 1 感染状況に応じた総会・地区全体会・研修等の人数制限、中止・延期、書面による開催
- 2 就業時の三密回避、マスク着用など

#### 4 令和3年度の主な公益目的事業等詳細内容

【数値】はいずれもR3実績値とR2実績値の比較

<p>1 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のための、就業の機会確保及び提供</p> <p>(1) 普及啓発</p> <p>① センター広報紙の発行 (会員、区関係各課、警察、消防) ・新年号は、上記のほか区公共施設・区議会・町会自治会に配布 <b>(拡充)</b></p> <p>発行部数/月 R3【4,000部】 R2【4,000部】</p> <p>② トキメキ記事の掲載 発行部数 340,000部/回 R3【12回】 R2【17回】</p> <p>③ センター事業案内チラシ新聞折込 折込部数 98,500部 R3【1回】 R2【1回】</p> <p>④ 新規会員募集用チラシを地域ごとに配布 (随時) 10,000部/年</p> <p>⑤ 東京しごと財団等イベント事業参加 (整理収納セミナー、スマートフォン相談会、シルボンヌ全国大会)</p> <p>(2) 就業開拓</p> <p>① 事業所にリーフレットを投函し、新規就業開拓を実施 就業開拓員7名</p> <p>② 家事援助サービス用チラシを地域ごとに配布 (随時) 40,000部/年</p> <p>③ 区内バスの一部に広告掲載&lt;東武バス 55台&gt;</p> <p>④ 竹ノ塚駅等構内にPR用ポスター等掲示&lt;竹ノ塚、北千住(2か所)&gt;</p> <p>2 高齢者の就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習の実施</p> <p>① 安全意識の啓発(全会員対象) R3【集合研修に代わり文書周知】</p> <p>② 就業前研修(公共・民間事業所等) R3【新規就業者 約1,000人】</p> <p>③ 危機管理研修(全会員対象) <b>(新規)</b> R3【103人】 R2【-】</p> <p>④ 新会員研修(接遇研修含む) R3【30回】 R2【40回】</p> <p>⑤ 職能研修(家事援助グループ研修) R3【延195人】 R2【延30人】</p> <p>⑥ 支所主催研修 (支所委員・協力員研修、接遇研修、リーダー研修、認知症研修等) R3【延210人】 R2【中止】</p>	<p>3 社会奉仕活動等を通じて、高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図るために必要な事業</p> <p>ボランティア活動 地域班56区域、支所単位で企画実施 (駅周辺・街路・歩道等空き缶、ペットボトル等ゴミ拾い、公園等公共施設外回り等の清掃及び草取り、包丁研ぎ等) R3【40件】 R2【14件】</p> <p>4 高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与する目的を達成するための調査研究、相談及び事業の企画運営</p> <p>(1) 調査研究</p> <p>① 事業実績の分析 実績数値に基づき就業状況を理事会や委員会で分析</p> <p>② 事業所等意向調査 郵送件数 R3【100件】 R2【100件】 今後の就業開拓につなげるために、区内発注者100社にシルバー人材センターの利用に関するアンケートを実施</p> <p>③ 未就業会員並びに再就業等について 事業理念に基づき適正就業の個別の個別検討を実施</p> <p>(2) 就業相談</p> <p>① 本部事務所 (平日 随時受付) R3【602件】 R2【589件】</p> <p>② 千住支所 (月1回 出張相談) R3【 54件】 R2【 66件】</p> <p>(3) 企画運営</p> <p>① 安全管理委員会 R3【 4回】 R2【 2回】</p> <p>② 就業適正化委員会(合同会議含む) R3【 2回】 R2【 2回】</p> <p>③ 就業開拓専門委員会(合同会議含む) R3【 5回】 R2【 2回】</p> <p>④ 会員増強専門委員会 R3【 1回】 R2【 2回】</p> <p>⑤ センター広報紙編集員・通信員合同会議 R3【 2回】 R2【 2回】</p>
--	--

## 5 過去5年間の会員数及び契約実績

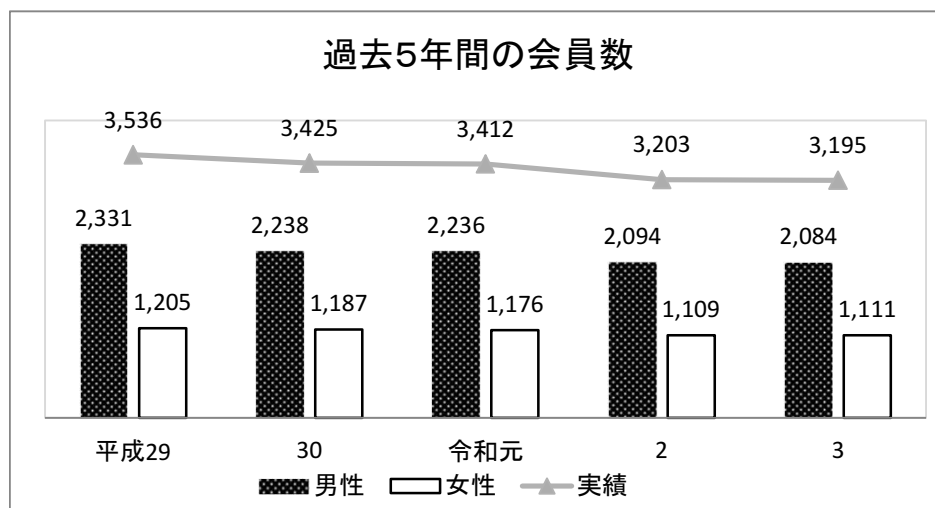
会員数 (人)

年度	目標値	実績	男性	女性	対前年度増減	目標・実績差	平均年齢
平成29	3,680	3,536	2,331	1,205	△45	△144	74.4才
30	3,500	3,425	2,238	1,187	△111	△75	74.9才
令和元	3,500	3,412	2,236	1,176	△13	△88	75.3才
2	3,500	3,203	2,094	1,109	△209	△297	75.8才
3	3,400	3,195	2,084	1,111	△8	△205	76.2才

契約額 (千円)

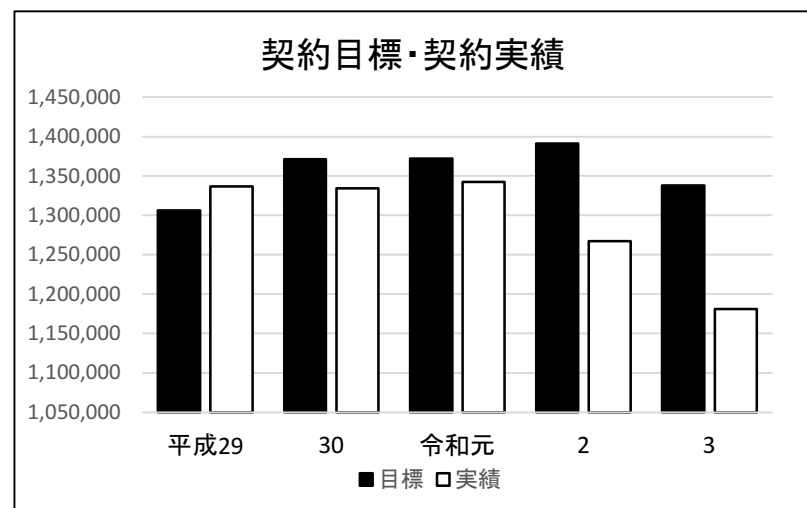
目標	実績	対前年度増減	目標・実績差
1,306,377	1,336,513	48,444	30,136
1,371,500	1,334,276	△2,237	△37,224
1,372,088	1,342,404	8,128	△29,684
1,391,250	1,267,396	△123,854	△123,854
1,337,933	1,180,909	△157,024	△157,024

過去5年間の会員数



女性会員数は微増した。令和3年11月末時点での女性会員数(1,124人)が前年度(1,097人)から2.4%増加したことにより、国からの令和4年度連合交付金が10万円加算される。

契約目標・契約実績



令和2年度は、コロナの影響によりシルバーパス一斉受付や施設貸出の中止・縮小により契約実績が減少した。

令和3年度は、一部契約の再開があったものの、大口の契約である学校管理、老人会館の改修工事、授産場の事業縮小等により契約実績が減少した。

## 6 令和3年度希望職群別登録及び実働状況

職群	職群名 (主な職種)	登録会員			実働会員		対 前年度
		男性	女性	計	令和2年度	令和3年度	
1	技術群 (自動車運転・教室講師等)	8	3	11	0	0	0
2	技能群 (植木、エアコンクリーニング、障子張り 替え等)	77	0	77	51	43	△ 8
3	事務整理群 (一般事務、受付等)	35	94	129	63	42	△ 21
4	管理群 (施設管理、自転車整理等)	783	21	804	895	958	63
5	折衝外交群 (販売・接客等)	0	1	1	0	0	0
6	軽作業群 (屋内外清掃、草取り、軽作業等)	1,026	603	1,629	1,601	1,621	20
7	サービス群 (学童擁護、広報配布、 家事援助サービス等) ＜内数、家事援助 サービス希望会員＞	155	389	544	968	994	26
		19	158	177	243	229	△ 14
計		2,084	1,111	3,195	3,578	3,658	

### 実働会員がゼロの職群について

職群1(技術群)、5(折衝外交群)については、発注者の指揮命令が生じる恐れが高い業務であるため、請負・委任契約に馴染みにくく、労働者派遣又は職業紹介によることが適切である。

希望登録(前職)を活かすには、センターが直接、運送事業免許や商品販売免許等を得て事業化するか、会員が(公財)東京しごと財団の派遣労働者になることで実働可能となるが、登録会員が少ないことから体調不良時等の代替が難しいという課題がある。派遣については、理事会等でメリット、デメリット、他団体の状況等を踏まえ引き続き調査研究する。

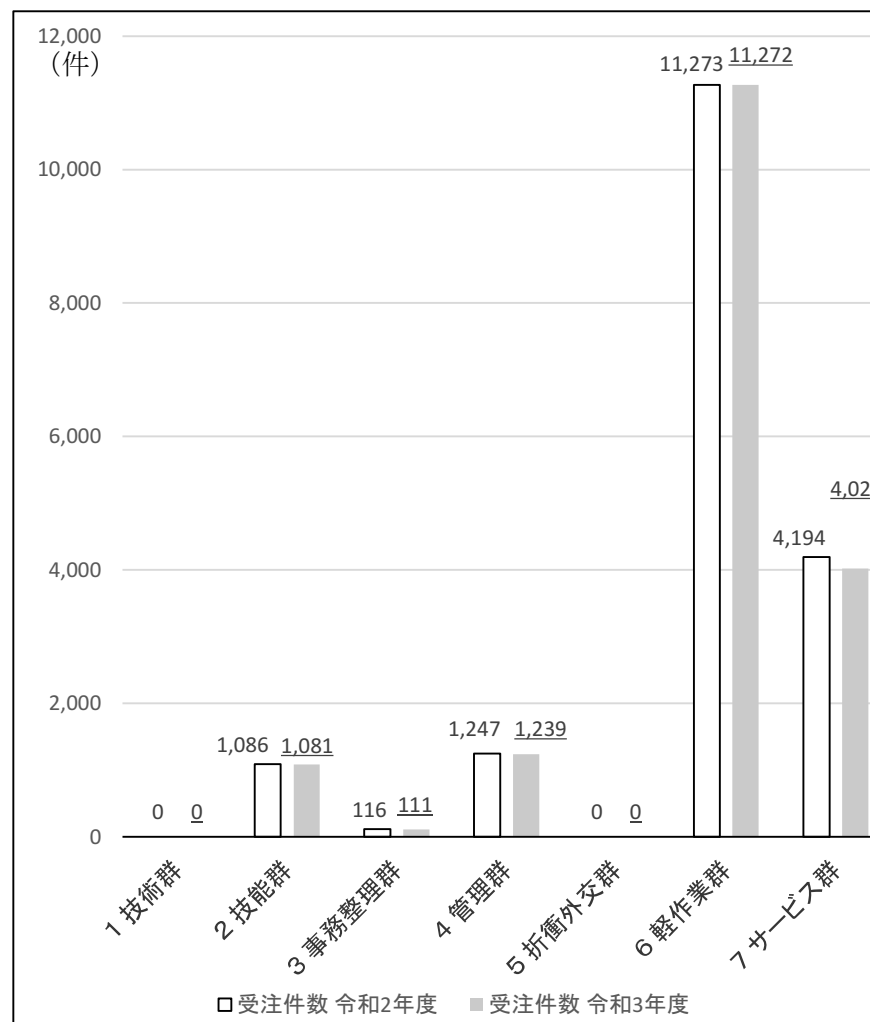
### 対前年度の数値の大きいものについて

職群4(管理群)は、63人増加した。これは、駐輪場管理の新規発注による増と実働会員の交代があったためである。

職群3(事務整理群)は、21人減少した。これは、令和3年度シルバーパス更新受付業務委託契約の就業時間数減に伴い、実働会員が減少したためである。

## 7 職群別実績(受注件数)

職群 番号	職群名 (主な職種)	受注件数		対前年度
		令和2年度	令和3年度	
1	技術群	0	0	0
2	技能群 (植木、エアコンクリーニング、障子張り替え等)	1,086	1,081	△ 5
3	事務整理群 (一般事務、受付、毛筆筆耕等)	116	111	△ 5
4	管理群 (施設管理、自転車整理等)	1,247	1,239	△ 8
5	折衝外交群	0	0	0
6	軽作業群 (屋内外清掃、草取り、軽作業等)	11,273	11,272	△ 1
7	サービス群 (学童擁護、広報配布、家事援助サービス等)	4,194	4,023	△ 171
	<うち、家事援助サービス>	3,764	3,597	△ 167
計		17,916	17,726	△ 190
目標値		21,000	19,000	-



コロナによる影響から、一般家庭が依頼を控える現象が続いている。また、民間企業においても、発注の縮小による就業場面の制限が一時的なものにとどまらない可能性がある。

## 8 正味財産増減計算書

### I 一般正味財産増減の部

#### 1. 経常増減の部

##### (1) 経常収益

##### 公益目的事業会計・法人会計

単位:円

科 目	令和3年度決算額 ①	令和2年度決算額 ②	比 較 増 減 ③=①-②	収益概要(内訳・主な増減理由など)
受託事業収益				発注者から受託した事業による収入
受取配分金 <1>	1,117,219,661	1,199,048,532	△ 81,828,871	<b>就業中止・縮小の影響のため前年度比 81,828,871円減</b>  ア. 主な減額要因 学校管理△55,434,000 (自主管理の増加に伴い減少) 老人会館△7,853,000 (老人会館改修工事に伴い管理委託終了による減少) 授産場△4,963,000 (事業規模縮小に伴い就業会員の減少) イ. 主な増額要因 学校清掃2,400,000 (新規契約2校)
受取材料費等 <2>	5,168,156	5,846,397	△ 678,241	契約履行のために使用し発注者から受けた材料費(5,168,156円/材料費の減少による減 △678,241円)
受取事務費 <3>	58,521,192	62,501,619	△ 3,980,427	発注者から受けた事務手数料(58,521,192円/就業中止・縮小の影響による減 △3,980,427円)
施設管理受託収益 <4>	1,124,707	1,577,086	△ 452,379	1,124,707円/老人会館改修工事に伴い管理委託終了による減少 △452,379円
受託事業収益計 <5>	1,182,033,716	1,268,973,634	△ 86,939,918	
受取会費				会員の年会費及び拠出金【配分金の2%】収入
正会員受取会費 <6>	3,317,000	3,286,000	31,000	年会費 1,000円×3,317名分(3,317,000円/前年度より会員数31人増 31,000円)
配分金拠出金受取会費 <7>	20,831,355	22,301,243	△ 1,469,888	就業配分金のうち2%を支所運営経費に充当(20,831,355円/〈1〉配分金減に連動して減 △1,469,888円)
受取会費計 <8>	24,148,355	25,587,243	△ 1,438,888	
受取補助金等				
受取区補助金 <9>	126,000,156	119,442,995	6,557,161	事務局人件費・事業費に対する足立区からの補助金(職員1名【病休】に伴う超過勤務増加 2,664,537円) ア. 人件費補助 114,025,577円 (正規職員・非常勤職員等 給料手当・社会保険事業主負担等) イ. 人件費以外の管理・事業に対する補助 11,974,579円 (賃金・OA機器・業務システム保守料・普及啓発チラシ印刷等)
受取連合交付金 <10>	7,329,000	7,329,000	0	連合経由の国庫補助金(人件費・賃金/前年度と同額)
受取区コミュニティ施設活用補助金 <11>	720,000	720,000	0	お休み処(西部支所)事業に対する区コミュニティ施設活用商店街活性化事業費補助金
受取補助金等計 <12>	134,049,156	127,491,995	6,557,161	
雑収入				
受取利息 <13>	22	20	2	流動資産利息収入
雑収益 <14>	709,673	2,926,721	△ 2,217,048	消費税還付(前年度はリース資産取得のため限定的に増加)
雑収入計 <15>	709,695	2,926,741	△ 2,217,046	
経常収益計 <16>	1,340,940,922	1,424,979,613	△ 84,038,691	

## (2)経常費用 公益目的事業会計

単位:円

科 目	令和3年度決算額 ①	令和2年度決算額 ②	比 較 増 減 ③=①-②	費用概要(内訳・主な増減理由など)
事業費				
支払配分金 <17>	1,117,219,661	1,199,048,532	△ 81,828,871	(1)と同額。会員へ支払う配分金(就業中止・縮小の影響による減 参考:就業会員1人当たり/月=35,440円)
支払材料費等 <18>	5,129,931	5,801,546	△ 671,615	契約履行のために使用した材料費の業者支払分(5,129,931円/就業中止・縮小の影響による減 △671,615円)
職員基本給 <19>	49,725,975	49,713,090	12,885	正規・嘱託・非常勤職員事業費分(49,725,975円/職員昇給による増と病休職員減給による減に伴う増加幅減 12,885円)
職員特別手当 <20>	20,194,690	18,841,050	1,353,640	正規・嘱託・非常勤職員、期末・勤勉手当事業費分(20,194,690円/支給対象職員拡大による増 1,353,640円)
職員諸手当 <21>	16,825,976	15,760,001	1,065,975	正規・嘱託・非常勤職員事業費分(16,825,976円/職員1名減【病休】に伴う超勤勤務増加による増 1,065,975円)
法定福利費 <22>	14,115,150	13,984,862	130,288	正規・嘱託・非常勤職員事業費分(14,115,150円/職員特別手当支給対象職員拡大に伴う増 130,288円)
福利厚生費 <23>	500,000	480,741	19,259	正規・嘱託・非常勤職員事業費分(500,000円/健康診断受診者増員による増 19,259円)
退職給付費用 <24>	7,248,993	6,919,003	329,990	正規・嘱託・非常勤職員事業費分(7,248,993円/職員昇給による退職金積立増額に伴う増 329,990円)
減価償却費 <25>	4,796,607	4,855,754	△ 59,147	什器備品等減価償却費事業費分(4,796,607円/固定資産取得減による減 △59,147円)
臨時雇賃金 <26>	6,662,657	5,208,353	1,454,304	臨時職員賃金(6,662,657円/感染症拡大防止に伴う勤務日数抑制解除及び最低賃金の増額による増 1,454,304円)
旅費交通費 <27>	1,126,852	908,790	218,062	委員・役員の費用弁償等事業費分(1,126,852円/委員会・会議等の開催増、職員出張回数増 218,062円)
通信運搬費 <28>	3,928,810	3,764,292	164,518	会員連絡用経費、電話料・郵送料等事業費分(3,928,810円/郵送による連絡の増加による増 164,518円)
会議費 <29>	15,965	24,477	△ 8,512	就業会議費等(15,965円/家事援助会議茶代の減 △8,512円)
消耗什器備品費 <30>	88,000	0	88,000	就業用等消耗什器備品費事業主分(88,000円/植木作業用消毒器購入による増 88,000円)
消耗品費 <31>	4,905,124	4,840,210	64,914	老人会館・授産場等施設管理消耗品(638,571円/老人会館休館等に伴う諸費の縮小による減 △284,867円) ボランティア活動消耗品(304,833円/実施回数増加による増 194,542円) 事業費分消耗品(3,961,720円/トナー等の事務用品及びコピー用紙等の購入量の増 155,239円)
印刷製本費 <32>	3,474,718	3,339,424	135,294	会員ハンドブック、作業日報等印刷代等(3,474,718円/印刷回数及び枚数の増 135,294円)
光熱水料費 <33>	1,647,564	1,558,950	88,614	西保木間複合施設、西部支所の電気料金・水道料金・ガス料金事業費分(1,647,564円/光熱水費の増 88,614円)
賃借料 <34>	5,899,899	6,479,846	△ 579,947	車両リース料、コピー・印刷機等リース料事業費分(5,899,899円/車両、コピー機及び印刷機リース料減額による減 △579,947円)
燃料費 <35>	1,051,739	826,115	225,624	車両燃料費等(1,051,739円/車両使用頻度の増加及びガソリン代高騰による増 225,624円)
保険料 <36>	10,127,148	10,306,038	△ 178,890	シルバー保険料、各種車両任意保険料等事業費分(10,127,148円/会員数・契約額減少に伴う保険料減 △178,890円)
手数料 <37>	68,299	160,830	△ 92,531	振込手数料等(68,299円/振込件数の減とゴミ処理券代未支出による減 △92,531円)
委託費 <38>	36,607,385	37,577,351	△ 969,966	「トキメキ」広告・記事掲載委託料(2,894,144円/広告掲載回数縮小による減 △125,818円) 接遇研修委託・自転車点検委託(722,590円/接遇研修回数減少による減 △54,184円) 普及啓発関係委託費(2,371,890円/新聞折込回数縮小による減 △495,703円) 支所関係委託費(27,944,220円/コピー機保守料の減及び役員委託費増 344,771円) 業務システム関係委託費(1,263,900円/サーバーデータ削除当年度未実施による減 △603,856)
諸謝金 <39>	1,486,447	1,069,425	417,022	就業開拓・家事援助等研修謝礼金(1,486,447円/就業開拓・研修回数増 417,022円)
租税公課 <40>	1,186,000	1,162,000	24,000	契約用収入印紙税等(1,162,000円/区契約金額増による増 24,000円)
負担金 <41>	20,000	30,000	△ 10,000	イベント・研修参加負担金等(20,000円/イベント・研修中止に伴う減 △10,000円)
雑費 <42>	15,192	110,030	△ 94,838	損失補てん金等(15,192円/鍵紛失、クレームによる未収金補てん額減 △94,838円)
事業費計 <43>	1,314,068,782	1,392,770,710	△ 78,701,928	

## (2)経常費用

## 法人会計

単位:円

科 目	令和3年度決算額 ①	令和2年度決算額 ②	比 較 増 減 ③=①-②	費用概要(内訳・主な増減理由など)
管理費				
職員基本給 <44>	10,467,600	10,460,166	7,434	正規・嘱託・非常勤職員管理費分(10,467,600円/職員昇給による増と病休職員減給による減に伴う増加幅減 7,434円)
職員特別手当 <45>	4,663,513	4,710,263	△ 46,750	正規・嘱託職員期末・勤勉手当管理費分(4,663,513円/病休職員の支給割合欠勤換算による減 △46,750円)
職員諸手当 <46>	4,144,483	3,862,547	281,936	正規・嘱託・非常勤職員管理費分(4,144,483円/職員1名減【病休】に伴う超勤勤務増加による増 281,936円)
法定福利費 <47>	3,137,541	3,176,376	△ 38,835	正規・嘱託・非常勤職員管理費分(3,137,541円/「厚生年金基金」制度変更に伴う退職給付費用への変更減 △38,835円)
福利厚生費 <48>	109,138	105,811	3,327	正規・嘱託・非常勤職員管理費分(109,138円/健康診断受診者増員による増 3,327円)
退職給付費用 <49>	1,705,187	1,652,916	52,271	正規・嘱託・管理費分(1,705,187円/職員昇給による退職金積立増額に伴う法定福利費からの増等 52,271円)
減価償却費 <50>	1,152,109	1,158,318	△ 6,209	什器備品等減価償却費管理費分(1,152,109円/固定資産取得減による減 △6,209円)
旅費交通費 <51>	798,818	710,692	88,126	委員・役員の費用弁償等管理費分(798,818円/理事会・会議等の開催増、職員出張回数増 88,126円)
通信運搬費 <52>	284,951	277,824	7,127	会員連絡用経費、電話料・郵送料等事業費分(284,951円/郵送による連絡の増加による増 7,127円)
消耗品費 <53>	492,302	434,779	57,523	管理費分消耗品(492,302円/トナー等の事務用品及びコピー用紙等の購入量の増 57,523円)
修繕費 <54>	0	28,160	△ 28,160	事務所印刷機修理費(28,160円/当年度は修理未実施のため減 △28,160円)
印刷製本費 <55>	412,005	404,910	7,095	総会資料・事務封筒等の印刷代管理費分(412,005円/議案書及び封筒の印刷枚数増による増 7,095円)
光熱水料費 <56>	92,138	87,706	4,432	西保木間複合施設の電気料金・水道料金・ガス料金事業費分(92,138円/光熱水費の増 4,432円)
賃借料 <57>	598,015	621,612	△ 23,597	コピー・印刷機・FAX等リース料管理費分(598,015円/コピー機及び印刷機リース料減額による減 △23,597円)
保険料 <58>	209,472	225,352	△ 15,880	役員賠償・個人情報取扱事業者・火災保険等保険料(209,472円/保険料減額による減 △15,880円)
手数料 <59>	93,894	51,597	42,297	振込手数料等(93,894円/振込手数料改定による増 42,297円)
委託費 <60>	2,413,479	2,532,088	△ 118,609	業務システム・コピー・印刷機・FAX等保守料管理費分(496,541円/業務システム関係保守料増額による増 52,518円) 総会関係委託費管理費分(136,258円/議案書封入及び感謝状筆耕委託料増による増 42,273円) 業務システム改修(213,400円/当年度未実施のため減 △213,400円)
租税公課 <61>	5,650	4,600	1,050	収入印紙税等(5,650円/登記簿取得回数増加による増 1,050円)
負担金 <62>	210,100	210,100	0	全シ協会費・各種負担金(210,100円/【増減なし】)
支払利息 <63>	559,605	307,041	252,564	パソコン等リース債務利息相当額(559,605円/新リース契約に伴う支払利息の増 252,564円)
雑費 <64>	0	5,000	△ 5,000	香典(5,000円/当年度の支出がないため減 △5,000円)
管理費計 <65>	31,550,000	31,027,858	522,142	



I 一般正味財産増減の部

2. 経常外増減の部

公益目的事業会計・法人会計

(1) 経常外収益

単位:円

(2) 経常外費用

科 目	令和3年度決算額 ①	令和2年度決算額 ②	比較増減 ③=①-②
(1) 経常外収益 <66>			
貸倒引当金戻入益 <67>	2,898	6,480	△ 3,582
経常外収益計 <68>	2,898	6,480	△ 3,582
(2) 経常外費用 <69>			
経常外費用計 <70>	0	0	0
当期経常外増減額 <71>	2,898	6,480	△ 3,582

一般正味財産増減の部	令和3年度決算額 ①	令和2年度決算額 ②	比較増減 ③=①-②
経常収益計 <72>	1,340,940,922	1,424,979,613	△ 84,038,691
経常費用計 <73>	1,345,618,782	1,423,798,568	△ 78,179,786
経常外収益計 <74>	2,898	6,480	△ 3,582
経常外費用計 <75>	0	0	0
当期一般正味財産増減額 <76>	△ 4,674,962	1,187,525	△ 5,862,487
一般正味財産期首残高 <77>	167,229,031	166,041,506	1,187,525
一般正味財産期末残高 <78>	162,554,069	167,229,031	△ 4,674,962

II 正味財産期末残高

正味財産期末残高 <79>	162,554,069	167,229,031	△ 4,674,962
---------------	-------------	-------------	-------------